

# 鐘の音

Kane-no-ne

パートナーシップさいたま  
(さいたま市男女共同参画推進センター)

広報誌

vol.26

2012.3 発行



▲ノンフィクション作家の吉岡忍さんがご自身の取材をもとに、  
東日本大震災の被災地で力を合わせて暮らす人々について語りました  
(10/16実施「トレンド社会学」より)

## 特集 平成24年度 講座・講演会予定…………… 2

～新しい生き方のヒントを見つけませんか～

- Pick up 平成24年度のおすすめセミナー…………… 3
- 第11回「女・男<sup>ひと</sup>フェスタさいたま」を開催しました…………… 3
- さいたま市女性カレッジ・男性カレッジ2011…………… 4
- ただいま活動中 「洋彩の会」…………… 4
- 女性の悩み相談 相談室から…………… 5
- コ・ラ・ム 数字…………… 5
- Book Navi 図書のご案内…………… 5
- 施設・相談のご案内 / ほっとたいむ…………… 6

# 平成24年度 講座・講演会予定

## ～新しい生き方のヒントを見つけませんか～

パートナーシップさいたまの講座・講演会で あなたと一緒に



講座名	内容	実施時期・回数	会場	対象
ブラッシュアップ講座	経済への女性参画の必要性が叫ばれる今、「経済を支える、輝く女性たち」のテーマから学び、ワンランク上の「自分磨き」を目指します。	4月～5月 3回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の女性
離婚、それでも 私らしく生きる	離婚について、必要な知識と情報を得、家族問題を見直し、どんなときにも自分らしく生きることを目指して学びます。	5月～6月 3回	プラザイースト (女・男プラザ)	市内在住・在勤・ 在学の女性
雇用と年金、女性の貧 困から考える男女共同 参画社会づくり	雇用や年金問題、貧困の現状といった社会を取り巻く状況を学び、経済的な自立について、男女共同参画の視点で考えます。	5月～6月 4回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の男女
男女共同参画週間 記念事業	自分の生き方、社会のあり方を見つめ直し、男女共同参画からどのような可能性が開けるのかを考えます。	6月 1回	与野本町コミュニ ティセンター	市内在住・在勤・ 在学の男女
理工系分野での実践と チャレンジ	理工系分野を志す女性を応援するため、活躍する理系女性の紹介や科学実験を行います。	7月～8月 3回	プラザイースト (女・男プラザ)	市内の小中学校に通う 女子児童・生徒とその親
女性カレッジ	女性史や社会的、文化的につくられた性差（ジェンダー）を中心に、災害と女性などについて継続的に学びます。	9月～11月 10回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の女性
トレンド社会学	今日的な話題から、「男だから」「女だから」という枠組みにとらわれない、自分らしく輝くためのヒントを見つけます。	10月 1回	未定	市内在住・在勤・ 在学の男女
子育て中のママたちへ	「もっと自分を好きになるために」をテーマに、育児・家事に追われているママたちへ、よりよい生き方を目指す機会を提供します。	10月～11月 4回	パートナーシップ さいたま	市内在住の子育て 中の女性
DV防止フォーラム	DVを中心とした女性に対するあらゆる暴力の根絶を目指し、テーマに沿って考えます。	11月 1回	未定	市内在住・在勤・ 在学の男女
男性カレッジ	男性が自分らしく、いきいきと心豊かにくらすために、男性の自立とワーク・ライフ・バランスを応援します。	11月～12月 5回	パートナーシップ さいたま	市内在住・在勤・ 在学の男性
出前講座 ①ワーク・ライフ・ バランス推進 ②デートDV防止	①事業所において、ワーク・ライフ・バランス推進や女性の能力活用のための講座を行います。 ②高校や大学において、デートDV防止のための講座を行います。	未定 ①1回 ②3回	①市内の事業所 ②市内の高校、 埼玉大学	①事業所の従業員 ②高校生徒、 埼玉大学学生

※このほかにも講座を企画しています。詳しくは市報さいたま、チラシ（市公共施設などに配布）、ホームページなどで随時お知らせします。

Pick  
up

# 平成24年度のおすすめセミナー

## ブラッシュアップ講座 経済を支える、輝く女性たち

現在、社会や経済に漂っている閉塞感を打ち破り、企業や社会を活気づける鍵として、経済への女性の参加・参画が注目を集めています。

この講座は、経済を支え、社会で活躍している女性について、女性学の専門家が講話します。また、自分の長所を把握した上で将来のキャリアデザインを描いたり、会議を円滑に進行し、合意形成を促進するための技術について学んだりします。

3回の講座を通して、仕事にも、自分にも「磨き」をかけませんか？

詳しくは市報さいたま4月号、チラシ（市公共施設などに配布）、ホームページをご覧ください。申込受付は4月3日（火）から開始します。

回	日時	内容	講師
1	4/20 (金) 19:00～ 21:00	経済を支える、 輝く女性たち	埼玉大学 准教授 金井 郁さん
2	4/27 (金) 19:00～ 21:00	キャリアアップに向けて ～キャリアデザイン を描こう～	東京女子大学 非常勤講師 青島祐子さん
3	5/11 (金) 19:00～ 21:00	円滑で有意義な 会議の進め方 ～ファシリテーシ ョンを学ぼう～	NPO法人都市づく りNPOさいたま 理事 三浦匡史さん

## いま！考えよう

## 男女共同参画



### ～第11回「女・男フェスタさいたま」を開催しました～

- さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会の加盟団体による展示・ワークショップ・ステージ発表
- 講演会「いま考えよう 男女共同参画 ～一人ひとりが輝くために～」  
講師 財団法人埼玉県国際交流協会理事長・前大和町長 柿沼トミ子さん
- トーク&トーク「男女共同参画について考える」
- 上映会「無常素描 ～大地揺れ 津波の跡、後～」(2011年 日本映画)

期日 平成24年1月28日(土)・29日(日)  
会場 シーノ大宮センタープラザ 9階・10階



▲参加団体代表者によるトーク&トーク

今回は、さいたま市誕生10周年記念事業として、また3.11の大震災があり、どのような内容にすべきか準備段階で論議されました。そこで、初めて参加団体の代表者によるトーク&トークと、震災ドキュメント映画の上映が行われることになりました。

講師は、県の要職を歴任され、県で初の女性町長として活躍された柿沼トミ子さんでした。まず第3回世界女性会議（ナイロビ）に参加した体験などを加えて、男女共同参画の「歴史」を語られました。それから少子高齢化社会、自殺者が交通事故死者より多いことなど内容が多岐にわたっていました。ことにM字型曲線の女性の働き方、ワーク・ライフ・バランスへ生活をチェンジしていくことの必要性を説かれたのは印象に残っています。

トーク&トークでは参加団体のうち6団体の代表が活動指針・活動状況を述べ、温かい地域との結びつき、退職者への生涯学習の相談など社会・地域活動の活発なことが理解できました。

映画「無常素描」は被災した無残な風景が上映され、98歳の女性が津波のあまりの恐ろしさに安心してしまった様子や、若い女性の「亡くなった方はもっと生きたかったですよ、そのことを思うとつらくても生きなくては」という発言がありました。参加者は被災者の気持ちを享受できたのではないのでしょうか。

記念事業にふさわしくワークショップ、展示、ステージ発表も充実していました。

(武藤勝美)

今年度も実施しました！

# さいたま市女性カレッジ・男性カレッジ2011

今年度の女性カレッジは、申込受付が10分で終了したほどの反響をいただき、講座は主にグループワークによって進められました。男性カレッジは育児や家事を主体的に楽しむ男性を応援しようと、「イクメン塾」「カジメン塾」という2本立てで行いました。これらの講座を、受講者の感想文から振り返ります。

## 女性カレッジ2011 コミュニケーションカアップをめざして ～自分を大切に、相手を大切に～

(9/27-11/29)

自己主張訓練(アサーション・トレーニング)を行ったり、ジェンダーやメディアの視点からコミュニケーションを学んだりしました。講師には、大学教授や客室乗務員をされていた方などをお迎えしました。



(第4回の様子)

★相手に自分の思っていることと違うことが伝わってしまったとき、どこが悪かったか反省して振り返りましょうと教えてもらいました。私にもよくあることなので今後に生かしたいと思います。(第1回)

★私自身知らないうちに「男らしさ」「女らしさ」の考え方にとらわれ、娘や息子に接していたように感じます。こういった枠のとらえ方が相手を傷つけてしまうと実感しました。(第3回)

★アサーション・トレーニングをして、とても難しいと思いました。「相手の気持ちも考え、譲り合うことなく接点を見出していく。」今までどんなに自分が折れていたか…と反省しました。これからは、アサーションで相手と良い関係になっていきたいと思います。(第5回)

★まずは気持ちを込めたあいさつから始めたいと思います。相手の心を読み取り、一言添える努力をしたいと思います。共感することも大切ですね。(第6回)

★毎日、何気なく目にしていたメディアですが、普通じゃないことが普通に思えてしまう恐ろしさを知りました。女性である利点もありますが、未だ男性社会である日本。能動的な行動を意識して自分らしく生きやすい生活を確保したいです。(第8回)

## 男性カレッジ2011 イクメン塾 (10/15, 22)

★“子育て”とは子が育つ環境を整えること、そのためには時間をつくり、夫婦の関係を良好にし、子と接する時間が重要であるということが印象的でした。できることから実践していきたいと思います。(第1回)

★様々な手遊びなど一緒にできて楽しかったです。今後子供と接する時間をできるだけとって一緒に成長したいと思います。(第2回)

## 男性カレッジ2011 カジメン塾 (10/29, 11/12)

★何か片づけをしなければと気持ちが空回りして面倒がっていました。しかし、片づけの心構えが単純で平常心でできるように、見返りを求めず楽しくすることを学びました。(第1回)

★今日はとても楽しい雰囲気調理することができました。作り方もレンジだけで簡単だったので家で気軽に作れると思います。今後も妻と共に家事を分担して楽しく子育てをしたいと思っています。



(第2回の様子)

(第2回)

ただいま活動中

## 「洋彩の会」

さいたま市男女共同参画推進団体  
連絡協議会の加盟団体を紹介します

35年前、夢と希望を求めて、衣文化の本場フランスへ。言葉はわかりませんが、洋裁は万国共通。数日の留学はあっという間でしたが、手作りの温かさと、その中身は深く濃いものでした。昭和60年、「洋彩の会」を創設。4、5人の友人に声をかけました。

日本伝統の着物。現代人には忘れ去られ、筆筒の奥深くに眠らせておくのはもったいない。そこで「着物から洋服に」。着物は絹色彩も最高です。その後、公民館や文化教室で大勢の皆様にも理解を深めたく、「女・男フェスタさいたま」にも参画しました。自分で製作した洋服で、生徒たちがモデルになりファッションショー。NHKの「地球大好き」という環境番組に取り上げられ、NHKホールで発表しました。

平成12年に創設した大宮混声合唱団と共に、昨年6月、市民会館おみや大ホールで発表。「変身 甦る世界」ファッションショーと、「音と彩のファンタジー」を展開。当日のドレスは着物と帯からのリフォームでした。

ご参加くださった皆様より温かいご寄付をいただき、読売新聞社を通して、東日本大震災被災者に寄付させていただきました。

洋彩の会  
代表(若生子)



▲女・男フェスタさいたまでのファッションショー



「どうなさいましたか」の一言が言えなくて

私には数年前に目撃した忘れられない光景がある。ある病院の待合室にいたときのこと、こちらに向かってはるか前方から3人連れが歩いてくるのが目に留まった。真ん中に小柄な女性。顔面には白いガーゼが貼り付けられ、両腕は包帯を巻かれて前方に突き出している。女性の両側には2人の男性。1人はやや若いしパートナーかもしれない。もう1人は彼らの親の年齢に近いと見受けられる。やがて3人は私の前を通り過ぎようとしていた。私の頭は直感的に「只事のけがではないな」と想像した。女性は医師の前で「なぜけがを負ったのか」伝えたのだろうか。2人の男性が付き添っていたのでは、本当のことは話せなかったのではないだろうか。医師はけがを不自然だとは考えなかったのだろうか…。

私は面前を過ぎていく彼らから目を離せなくなった。離せなくなったばかりでなく、女性に歩み寄り「どうなさいましたか」と声をかけたい衝動に駆られた。するともう一人の私が「他人様のことだし、大きなお世話ではないか…」と先走る気持ちを制止したのだ。ゆっくり遠ざかっていく3人の後ろ姿を、所在なげに見送る結果となった忘れがたいできごとである。

月日が流れても折にふれて、あのときの痛々しい小柄な女性の姿を思い出し、今も忘れることはない。たとえ見知らぬ女性であっても、一声かけられなかった未熟な私と向き合いながら、今もお相談員として「どうなさいましたか」と発することの意味を考え続けている。(婦人相談員N)

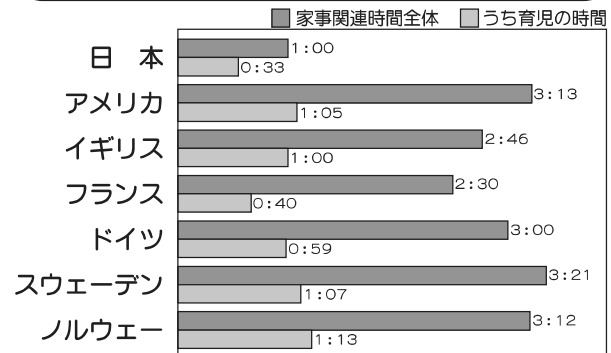


33分



この数字は、日本の「6歳未満児のいる夫の育児に費やす時間(1日当たり)」です。なお、育児を含めた家事に費やす時間は、1時間となっています。

6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間



平成23年版「男女共同参画白書」より  
(内閣府男女共同参画局)

「男性カレッジ2011 イクメン塾」(P.4参照)講師のNPO法人ファザーリングジャパン代表理事安藤哲也さんは、「育児と仕事を同等に重視したい男性は7割いますが、長時間労働のために育児時間が取れないのが子育ての悩み、課題となっています。それを改善するためには仕事を効率的に行い残業を減らすなど、時間の使い方を工夫することが大切。父親が育児に関わることにより母親のストレスが軽減され、夫婦関係が強まるとともに、子供の成長に良い影響を与えます。」と話されました。

BookNavi

情報・資料コーナーで貸し出ししている図書のご案内です。

『世界一あたたかい人生相談』

ビッグイシュー販売者/枝元なほみ 著 2011年(講談社)

ホームレス状態にある人だけが販売でき、収入を元に自立を目指す雑誌「ビッグイシュー日本版」。この本は、ビッグイシュー販売者が読者の悩みに回答する「ホームレス人生相談」と、料理研究家の枝元なほみさんによる、読者の悩みに合った料理紹介から構成されています。

ビッグイシュー販売者の中には親族とも疎遠になり、人付き合いの煩わしさから孤立した生活を送っていた人もいましたが、やはり誰かと繋がっていたいという思いからこの仕事に就いた方もいらっしゃいます。販売者同士の交流会の記事もあり、イキイキと活動する様子に「煩わしいと思いつつも、人は人と繋がって生きてゆくものなんだなあ」と感じました。

ほっこり美味しいお料理を誰かと一緒に「美味しいね」と食べられるだけで、悩みが吹き飛んで「明日も頑張ろう!!」という気持ちになれそうです。なんだか気持ちが沈んでしまうときは、この本を手にとっていただければと思います。(石塚寿美恵)

『男性の「生き方」再考 メンズリブからの提唱』

中村彰 著 2005年(世界思想社)

本書の第1部「メンズリブへの招待」の小見出しに『「男らしさ」から「自分らしさ」へ』とありますが、全巻を通じてこの“自分らしさ”ワーク・ライフ・バランスの社会での理想的な男性像へのアドバイスになっています。

事例ごとにコラムIからIXまで論述されています。コラムVIII「お父さん、心豊かに生きようよ」では結論に「感情豊かな自分を取り戻すことで、家族はもちろん、地域の高齢者や子どもたち、障害者とのふれあいを楽しみたいものである。」とあります。地域社会が豊かになるように望まれることです。

コラムIX「料理と私」の最後に「仕事に行き詰まったとき、料理をすることでリフレッシュできる。料理など生活の知恵を自分に取りこむと、身の周りの景色がずいぶん豊かになる。そんなおもしろい冒険に出かけませんか。」と述べられています。私自身、積極的に買い物や料理に取り組むようにしているので、家庭の日常を代弁されているようです。(武藤勝美)

施設のご案内

パートナーシップ  
さいたま

ひと ひと  
女・男プラザ

場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮 センタープラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階 <small>※浦和駅東口よりバス、「緑区役所入口」下車 又は東浦和駅よりバス、「プラザイースト南」下車</small>
開館時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始

施設の利用

男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。  
(パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと  
女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)

情報・資料コーナー、交流コーナー

本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。  
閲覧、貸出しができます。ちょっとした話し合いに利用できる  
交流コーナーもあります。

お問い合わせ **048-642-8107** (パートナー) **048-875-9966**

相談のご案内

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月～金 / 10:00～20:00 土・日・祝 / 10:00～16:00	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金 / 10:00～17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金 / 10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水 / 10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水 / 10:00～17:00	

●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日 / 13:00～15:30	
ひと ひと 女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日 / 13:00～15:30	

●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第4金曜日 / 13:30～16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

ほつとたいむ



編集員が2年の任期を終えました  
編集作業を通じて、人生の先輩の意見  
などから、いろいろな勉強させていただき  
ました。パートナーシップの講座などに  
参加して男女共同参画に関心を持つてく  
ださる方が増えているのは、うれしいこ  
とです。思いやりあふれる社会になりま  
すよう、これからも「鐘の音」のご愛読  
をお願いいたします。(秋山典子)

男女共同参画推進という硬い言葉に戸  
惑いながらも、皆様のおかげで充実した  
活動ができました。有難うございました。  
再認識した「お互いの差を認め合う」  
を心がけ、今後とも心身ともに健康に過ご  
せるよう行動したいと思っております。  
(五十嵐茂樹)

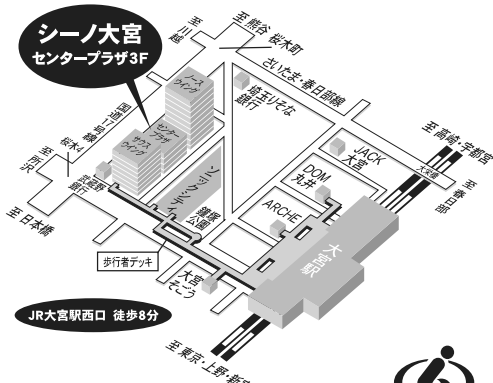
早いもので2年の任期が満了となりま  
した。自分の感じたことや伝えたいこと  
を文章にするのは、思ったよりも難しく  
てよい経験になりました。  
編集委員の顔ぶれも幅広く、子供や職  
場を通しての付き合いとは違った方々と  
知り合えてよかったです。  
ありがとうございました。(石塚寿美恵)

私にとって、5月で25歳になる孫と「鐘  
の音」編集に関わった日々が重なります。  
男女共同参画社会の実現にはまだまだ多  
くの課題が有りますが前進することを信じて  
身近なところから努力したいです。みな  
さま、ありがとうございました。(卜部喜子)

ある事情からほぼ1年編集員活動に加  
わりました。この間、理工系を目指す女  
子支援、男性への家事へのいざない「力  
ジメ塾」などの講座が実施されました。  
行政(当センター)の広い視野からの講  
座の企画・実施など多忙の日々を感得さ  
せられました。(武藤勝美)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。  
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで  
お願いします。

《誌名「鐘の音」》  
大宮の古い地名「鐘塚」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音  
を響かせたい、その願いを込めて名づけました。  
パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.26 2012年3月25日発行  
＜編集・発行＞  
さいたま市男女共同参画推進センター(愛称 パートナーシップさいたま)  
編集員/秋山典子・五十嵐茂樹・石塚寿美恵・卜部喜子・武藤勝美  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階  
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801  
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp



自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が  
無料でご利用になれます。



◆ホームページもご覧ください◆

パートナーシップさいたま

検索

7・11・3月発行(年3回)

この広報誌は4,300部作成し、1部当たりの印刷経費は17.5円です。